

放射線検査説明について

医療法改正により放射線検査を受ける際は医師から放射線診療に関する検査の説明が必要となりました。

当院では放射線検査を受ける患者様へ放射線科医師より検査説明を行います。

患者様へ検査説明後、
こちらの用紙を配布しています。

説明の内容は主に以下の3点です。

- ① 当該診療により想定される被ばく線量とその影響
- ② リスクとベネフィットを考慮した放射線診療の必要性
- ③ 実施している医療被ばく低減に向けた取り組み

医療法では

「放射線科に所属する医師、診療放射線技師および看護師は、患者に対する説明を補助することができる」となっています。

お困りの際は、お気軽にお尋ねください。

全科共通

単純X線CT検査説明書

0008

検査名：X線CT検査

1.CT検査を受けるにあたり

今回のCT検査は病気、外傷の診断や治療方針の決定、治療効果判定のために必要です。検査部位に応じて被ばくはありますがCT検査による画像情報を得る事が有益と判断したため今回の検査を行います。

2.CT検査とは

CT検査とは、コンピュータ断層撮影法（Computed Tomography）の略です。装置が回転しながら人体にX線を当て、その情報をコンピュータ処理して鮮明な輪切り画像を得ることが出来ます。短時間で広範囲を検査することが可能であり、薄い輪切り画像を重ね合わせることで立体的な画像（3次元画像）を作ること出来ます。

3.検査方法

- ・検査部位や内容によりですが検査時間は概ね5分から10分程度です。
- ・検査台の上に動かないように寝ます。合図にあわせて呼吸を止めて撮影する場合があります。

4.CT検査の被ばく

CT検査では体の痛みはありませんが、X線の“被ばく”を伴います。当院では診断参考レベルをもとに線量の最適化を図っています。特に、影響を受けやすい子供さんや眼などを検査する場合は更に線量を抑えた設定で検査します。

	1回の撮影における 推定実効線量 [mSv] ※
頭部	2.2
胸部	6.5
胸部～骨盤部	12.7
腹部～骨盤部	9.4

※ICRP Publ.102 Table.2より換算

CT検査の被ばく線量では急性の放射線障害が発生する可能性はありません。被ばく線量の増加に伴い発がんリスクが増えることが知られていますが、100ミリシーベルト以下の被ばく線量による発がんリスクは他の要因（生活習慣など）による発がんリスクに隠れてしまうほど小さいとされています。ご自身の検査における詳細な被ばく線量をお知りになりたい方は放射線部受付までお問い合わせ下さい。

5.検査の注意点

- ・撮影する部位に金属類（ヘアピン・ネックレスなど）がある場合には取り外して検査を行います。
- ・植込み型除細動器（ICD）やペースメーカーなど、植込み型電子医療機器の中にはX線検査で誤作動を起こす機種があります。該当する方は事前にお申し出下さい。
- ・胎児への影響を避けるため、妊娠中もしくは妊娠の可能性のある場合は原則としてCT検査の適応外となりますので、事前にお申し出下さい。

連絡先：聖隷浜松病院 8:30～17:00 放射線部 17:00～8:30 検査室 TEL 053-474-2222(代)



聖隷浜松病院 作成 2020年7月 診療管理情報 (: 005155R1010200 スキャン : ■不要)

検査結果説明は貴院で行う旨を検査予約時に
患者様へ一言お口添え下さい

現在の予約状況 (緊急検査は随時対応致します)

《CT》 即日対応可 《PET》 翌平日対応可

《MRI》 約7日以内 《放射線治療》 随時受付中

ご予約・お問い合わせ

地域医療連絡室 (JUNC) まで

※12歳以下の造影検査を希望される場合は当院小児科へ
ご紹介ください。



0120 - 107 - 352

受付時間 9:00～17:00 (月～金)

9:00～12:00 (土) ※日祝日は休み